

## 審議会等の会議結果報告

|            |  |
|------------|--|
| 1. 会 議 名   | 第1回情報のかけ橋委員会   |
| 2. 開 催 日 時 | 令和5年8月29日(火) 午後2時00分～午後4時00分   |
| 3. 開 催 場 所 | 松阪市役所 5階特別会議室  |
| 4. 出席者氏名   | (委員) ※敬称略<br><small>副市長</small><br>永作友寛、山守一徳、川口正人、酒井由美、中北直子、<br>殿村道信<br>(事務局)<br>中西章、武田誉利子、今井秀政、岸本大輝、 <small>インターン実習生</small> 岡野百優 |
| 5. 公開及び非公開 | 公 開  |
| 6. 傍 聴 者 数 | 1人   |
| 7. 担 当     | 松阪市 秘書広報局 広報広聴課<br>TEL 0598-53-4312<br>FAX 0598-22-1119<br>e-mail kouhou.div@city.matsusaka.mie.jp                                 |

### 議題

1. 委員長あいさつ
2. SNS等の運用状況について
3. 広報まつさかデザインリニューアルの可否について
4. 松阪ナビについて
5. 行政チャンネル報告事項について

### 議事録

別紙

## 第1回情報のかけ橋委員会 議事録

事務局 令和5年度第1回情報のかけ橋委員会を開催します。それでは事項書に沿って進めさせていただきます。

### 1. 情報のかけ橋委員会の委員委嘱・紹介

事務局 川口正人さん、酒井由美さん、中北直子さん、殿村道信さん、山守一徳さんの順に委嘱状交付および、紹介。昨年度に引き続き、委員長を永作友寛、副委員長を山守一徳さんとするのを委員の賛同で決定。続いて、事務局（中西、武田、今井、岸本、岡野）を紹介。

### 2. あいさつ

委員長 皆さん改めましてこんにちは。今年度、1回目の情報のかけ橋委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。私もこの役職につかさせていただいて、この情報のかけ橋委員会の中で意見を言わせていただいたり、皆さんからの意見もいただく中で、例えば広報やホームページで、いかに市民の皆さんに正確な情報を早く伝えるかというのが重要な部分なんだと痛感しております。少し前になりますが、すごく大きな台風がこちらへ近づいてきそうだというときには、それぞれ個人が色々な情報を調べ、事前に準備をしたりします。当然私ども災害対策本部でも事前に極力被害がでないように準備を進め、緊急事態の時にいかに早く市民の方に情報を伝えるかという情報発信の大切さを痛感しております。今年度、今日も色々ご意見を伺ったりという予定をしておりますので、いつものように忌憚のないご意見を頂ければと思いますのでよろしくお願いいいたします。

### 3. 情報かけ橋委員会の活動趣旨説明

事務局 資料①、資料②について説明。

### 4. 令和4年度の主な広報広聴課の広報活動紹介

事務局 資料③について説明。

### 5. SNS 運用状況についての報告

事務局 それぞれのフォロワー数とチャンネル登録者数を令和5年8月1日現在で掲載させていただいております。  
FACEBOOK のフォロワー数が 2,302 人  
X (旧 Twitter) のフォロワー数が 3,893 人  
Instagram のフォロワー数が 4,693 人  
YouTube のチャンネル登録者数が 3,130 人  
松阪ナビのダウンロード数が 26,802 人

## 6. 広報まつさかデザインリニューアルの可否について

事務局 資料④について説明。

広報8月号の実際の紙面を参考に説明をします。

表紙は、特集に関連したものがデザインされています。次に目次があり、目次横は、比較的明るい話題やPRしたい内容をピックアップしています。続いて3ページは翌月のピックアップ記事をあげています。そして特集があり、8月号では2ページ分ありますが、月によっては4ページの場合もあります。続いて6ページ、健康フェスティバル、子育て応援スタンプラリー、7ページは子育て世代の皆さんへということで関連する話題を見開きになるような構成になっています。続いて8ページからは松阪情報広場、図書館、競輪、天文教室、ベルファーム、文化財センター、コロナのワクチン関連、高齢者の暮らしを考える、まちのできごと（市内の出来事）、松阪コミュニティ（民間のイベント告知）、親子向けの健康講座・相談、市民相談、一歳になったよという構成になっています。6,7,8月号を準備しておりますので、ご覧いただき、内容についてのご意見をいただければと思います。

委員 30ページの右下付近の文字がバックの色と近すぎて見にくい点と、21ページのオレンジの文字が、背景の色と近すぎる。

事務局 デザインの色合いと文字の色を今後気をつけていきたいと思っております。ありがとうございます。

委員 色覚異常の方に対する配慮という部分がちょっと欠けているのではないかな。色をたくさん使うというのが読者にとって新鮮な部分もありますが、少し色弱の方に対する配慮が、繰り返しこのデザインをやっている途中でどうしても忘れ去られてしまう。デザインと色に走るとありがちなパターンだと思います。目次の文字に対して色を使うのはいいんですけども、その分やっぱり見づらくなる。タイトルであ

ればある程度字が大きいので問題はないんですが、この目次のところの大きさくらいになってくると色があることによって見づらいところが出てくる。このままいくにしてもリニューアルするにしても、色を多用するというのではなく、色覚異常の方に対する配慮を念頭に置いて考えることが必要だと思います。

あと、8月号に関してもそうですが、本来ならば右開きの場合は縦書きが基本ですが、実際ページとして縦書きがあるのは4ページくらい。どうしても、ホームページのアドレスや電話番号などが入ってくると横書きじゃないと対応できない時代になってきていると思います。その中で無理くり右開きにしていこうとすると、どこかで4ページくらいは縦書きを入れられないといけないということで入れていると思いますが、圧倒的に横書きが多い。はたしてそれで右開きといえるのか。これだけ横書きが多発してきた場合は、左開きに変えていく必要があるのではないか。左開きにすると何が良いかというと、そのままの形式でホームページ上でも流すことが可能である。デザイン自体は何も問題ないと思います。でもやっぱりどこかで違う見せ方をしていきたいという思いがあるので、同じデザインの元、右開き左開きというのを変えていく時代なのかなと思います。

事務局 ありがとうございます。たしかに縦書きのページがだいぶ少ないですね。いただいたご意見を検討させていただきます。

委員 思い切って変えると、あぁリニューアルしたんだなというのがわかる。内容が同じでも開きを変えるだけで、変わったのは大きいと思う。

事務局 ありがとうございます。前向きに検討させていただきます。

委員 どうしたらよいかというのは表現が難しいけれど、説明の時も言われていたように、30.31ページの各種市民相談や健康講座がどうしても量が多いので細かくなってしまって見づらい。カレンダー方式にするのもなかなか難しいですね。さっきの話とは相反してしまうけれど、ジャンルで色分けしたほうが見やすい？講座のところがもうちょっと見やすくなったらいんじゃないかと思いました。

事務局 ありがとうございます。どうしても盛り込もうと思うとこうなってしまう。枠幅を長いものに合わせるとなるとどうしても余白部分も出てしまいますし、もったいない部分もあるんですけど。こういう相談系はなかなかなくなることはないと思いますし、コロナが明けてイベントが増えてきたことにより、こういった相談窓口も増えてくる可能

性があるかとは思いますが。紙面の構成については今後も検討させていただき、また各市町の構成など参考にできる部分があれば、それを見ながら検討していきたいと思えます。

委員 この夏休みにほかの県の広報を見て回ったんです。他の広報と比べ広報まつさかは、なんて情報が満杯なんだと誇りに思いました。こんなに良い情報が盛り込まれているので、いかに市民に届けられるかというのがポイントになると思うんですけど、子育て世代からの意見としては、8月号の子育てのスタンプラリーがあります、6ページですね。30代40代の子育てパパママさんが広報まつさかを開く率が低いのではないかと懸念されているんですが、これを見ていただくためにどういうことができるかなというところで、みなさんに意見を聞いてみたんです。そしたら例えばなんです、子育て支援センターに広報の例えばこのページをカラーで大きく置いてあると。この情報は広報まつさかを見ると載ってますよ、という非常にお手間はかかるんですが、こういう啓発をしていったほうがいいんじゃない？というような意見も出たりして、ここにこういう情報が盛り込まれているといった誘導をしていくチャレンジをしていってもいいんじゃないかなということもありました。なので、シニアの皆さんもそうだし私も子育て世代もそうなんですけど、ここにこんな情報があると知っていただくというのはやはりポイントとなることだと思うので、カラーコピーなりを取りつつ、もっと周知していく、アクションしていくのはどうかなと思いました。あとは、今回の生活支援のまつさかみんなの商品券というのがスタートしていますけれども、これはやっぱり目次なので写真はあえて入れていないのでしょうか。

事務局 ありがとうございます。情報発信の方法など改めて検討させていただきます。あと、目次横の件ですが、写真を入れる場合もありますが、今回は文字が多かったというところが大きな理由で写真を入れることができませんでした。

委員 そういう目論見があるのかなと思いましたが、商品券といえばどんなものか画像があれば身近に感じやすいのではと思いました。あと、ページの綴じる場所について他の委員会で意見が出たのですが、市議会さんのは左綴じなのに、ずっと右綴じでやっている方も多いらしくて、綴じるっていう市民の習慣もあるってことがわかりましたので、ご検討されてはいかがかなと思いました。あとは、6月号で取材をしていただきましたありがとうございます。その時に取材をされていた事務局さんの一生懸命さがすごくて、こう

いう風にして広報まつさかができてるんだと私市民として感動しました。このような市の職員さんたちが作っているという裏側を行政チャンネルなどで見せてあげるのも、市民の気持ちを寄せていくのにつながるのかなと思いました。あともう一つ、6月号の24ページなんですけれども、松阪市公式アプリ松阪ナビの広告が1ページ分出てますが、松阪ナビの登録者数が増えてましたね。1,195人増えてるんですが、やはりこれを利用させていただくと、防災にもごみの確認にも良いということで、この1ページを毎月慣れるまで載せられないのかなと思いました。

事務局 ありがとうございます。最後の松阪ナビは正直、空いたページっていうのはありまして、今回1ページ差し込めるということで周知したいというところもありました。おっしゃっていただいたように、毎月というのがやっぱりベストではあると思いますので、1ページじゃなくても半ページなど、検討していきたいなと思います。今回表紙の左側が小津安二郎のロゴがあります。真ん中以降右側が空いていますので、ここで松阪ナビとかのQRコードを入れるなどの検討もさせていただきます。ありがとうございます。

## 7. 松阪ナビについて

事務局 資料⑤を参照に説明しました。

今回の検討内容としては、今後も松阪ナビを使っていきたいのですが、よりよい新しいアプリが出てくるかとは思っていますので、今まで通り5年という長期契約をしていくべきか、1年ないしは3年で契約とするほうがよいか。そういったところのご意見を頂戴できればと思います。もう1点、松阪ナビのダウンロードを増やす方法や、見やすさなど、ご意見もいただければと思います。

委員 松阪ナビがいきなり情報のかけ橋委員会にあがってくるのが少し委員の皆さん違和感があります。これに関しては情報のかけ橋委員会は、当時導入されるって言ってたのが、ここじゃなかった(情報システム課)。だから、はいこれでできました皆さんやってってくださいねっていう説明は来ていただいて受けたんですけれども、これがいつの間にか広報広聴課のものになっているという…。

事務局 そうですね、その当時は導入と内容が情報システム課が担当になります。発信に関しては広報広聴課のほうでもやっていくという二本立てというか、2つの課でやっていたんですけれども、年数が経つにつれ

こちらのほうへ全部。

委員長 これを運用していくとか発信していくとかはこちらがやっていくべきことだろうということで今は広報広聴課のほうで運用していくという形にはなりました。

委員 両備システムズさんに決まった経緯というのを多分この委員のメンバーさんは知らないと思います。ただし、いったん入れたアプリをそこから取るのってめっちゃ大変なんです。このアプリマークを。削除すれば良いつてことだけじゃなくて、いまだに外せてなくて携帯に入ってるんです。仮に松阪ナビという名称は変えずにアプリもそのまま継続していくのであれば何ら問題はないと思いますけれども、ましてやこれが何年か経って新しい業者さんになって、この松阪ナビという名称もアイコンも変わるっていうことになると、市民の方はすごく文句言ってくると思う。

事務局 確かにそうですね。はたしてその方たちがまた全員ダウンロードしていただけるかわからないし、せっかくここまで来ているのでということもあって。

委員 そちらへの兼ね合いを両備システムズさんとどういう話し合いになっているかという部分は少しリサーチしてもらわないと継続するにしてもちょっと情報が…。だから絶対避けてもらいたいの、先ほども言ったように、アプリのアイコンを変えないといけないということとはちょっとかなり批判的です。

委員長 事前にこうやって僕らもこの会議の前に打ち合わせをしたりするんですけど、まず松阪ナビ今2万なにがしまでダウンロードしていただいている、これには小中学校のタブレットの数は入っていないんです。要するに、子供たちへの部分についてはそれを入れると3万とか、それくらいのダウンロードになりまして、本当に緊急時とかの時にそれくらいの数にはこちらから情報発信ができるという状況にはなっておりますので、結構多くの方がやっていたという事実があるんですけど、その中でこのアプリを全然違うところで別物にしてしまうっていうことになると新たなものをダウンロードしないといけない。そうすると、その数のものがまた同じだけ臨めるかってなるとおそらく無理かな。

委員 それと結構年配の方が、なんで何にも松阪ナビさん言わんようになって

てきたんやろ、って言うと思う。

委員長 そうしたら、今のこの松阪ナビの中身で逆に問題がないかどうかなんですよね。

委員 契約時にこの松阪ナビという部分は業者が変わっても継続できますよという契約なんですか。

事務局 そこまでは…。そこはこちらで調べます。

委員 それありきで投げかけてもらったほうが…。この運用継続に関しては何も言えないかな。

委員長 今こういう風に情報発信をこちらからできているということについては良いですよね。逆に言うと、相互に向こうからの情報を頂ける、こちらからも情報を発信できるっていうことにはなっていますので。

委員 明日はごみの日です、とかお知らせは来るし、こないだの台風の時も積極的に情報入ってきましたし。

事務局 ホームページと同じように松阪ナビでも情報を発信しています。

委員 これが業者が変わったときに継続できるかですよね。

委員長 道路の危険箇所なんかも、皆さんが使っていただくと情報がいっぱい入ってきてありがたいですし、そういう情報はいただいて、現実に対応をするっていうことにも利用はされていますので、良いかなと。もっと皆さんにそれをうまく使っていただくと、色んな管理をする立場からすると、非常に早く情報は入ってくるかなと。

委員 もっとそういうのができるっていうのをPRするといいいのでは。

委員長 現実にも私もそういう部署におりましたので、とんでもなく情報が入ってくるんじゃないかと最初は心配していたんです。でも、意外とそんなことなく、電話で連絡をいただいたりとか、言いに来ていただいたりとかそういうケースが多いです。もっと利用していただいて、早く知れたほうが管理するほうは良いんじゃないかなと。

委員 逆にそれをもし広報広聴課で運用していかないといけないのであれ



ば、もう少し具体的に、事例としてこういう使い方がありますよという1ページの構成をされても良いかもしれません。穴ぼこを写真を撮って送ってもらったらすぐ反映できますよというような事例的な部分もやっぱり入れるとみんな興味を…。ただ単に挙げるよりも。

事務局 この広報8月号の13ページにも、8月はちょうど道路ふれあい月間になりますので、こういう機能を使ってお願いしますという文字だけなので見てもらってもスツとこう流される。そういうやり方なりで載せれば、もっと使っていただけるかも。

委員 一つ、今の検討内容とは違うんですけど、PRで松阪ナビにはこういう使い方があるっていうのを、高校生とかに紹介してもらって行政チャンネルで放送するとか。完全に思い付きなんですけど、そんなのも面白いかなと。

事務局 道路月間については建設保全課のほうの希望で、松阪ナビをどうやって使うのかっていう動画は撮って放送してはいるんです。ただ、その露出が強化されないというところもあるので、それもまた踏まえて、高校生を巻き込むとか、そのあたりも含めてご検討させていただきたいと思います。

事務局 ありがとうございます。それではまたリサーチさせていただいて、ご意見にお応えできるようにさせていただければと思いますのでお願いします。

## 8. 行政チャンネルにて報告事項について

事務局 資料⑥を参照に説明しました。

では早速、松阪「力」を1本5分程度ですがご視聴いただいて、様々なご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございます。先にお話しすればよかったんですけど、作り手側の意図としては、松阪市にこんな企業があることを改めて発見してほしいということと、あとは地元を支えている企業さんがある程度理解をしていただきたいということと、学生ですとか求職者の方に松阪市に戻ってきて働きたいと思っていただけるような番組の制作をしたいという風なコンセプトがあるんですけども、BGMが多いとか色々な意見はあると思うんですけど、ぜひ感想をいただけたらと思います。よろしく願いいたします。

委員 何社か放送されているんですか。

事務局 そうですね、これで3つ目になります。1か月ずっと放送するので、あまりナレーションを入れないようにとは考えてはいますが、1時間に1回流れるのであまりくどくなりすぎないようにするところはあります。

委員 ちなみに企業数は？

事務局 実は今24社くらいあるのでちょっと時間はかかると思うんですけど、基本的にはその企業さんとお話しした上で流していくような構成になるので、例えばもう少し見え方的なところで、もう少しこうしたほうがいいんじゃないかとか、よろしいですかね。

委員 今ポイントをおっしゃったんですけど、3つ目の、学生さんに戻ってきてもらいたいとか企業さんに興味を持ってもらいたいとかというポイントに引っかけたんですけど、それを実現しようと思ったら、やっぱり人の温かさとか、その職員さんをもっと身近に感じられるような、感性を揺さぶるような何かがあったらなって思ったんですけど、例えばなんですけど、「力」っていうタイトルが書いてありましたが、職員さんというか社員さんの人となりわかるような、その人が力を感じさせるような、もう少し人間味がわかるような質問ができたらいいのかなと思いました。ちょっとよそいき感を感じました。もうちょっとあなたのそばに寄りたいていう感じはしました。

委員 大企業すぎるよな。

事務局 実はですね、最初は中小企業さんを取り扱いたかったんですけども、なぜそこにしたのかという根拠ですとか、非常に企業数も多いといったところで、なかなか難しくてですね。

委員 動画からコンセプトの趣旨が伝わってこなかった。上手に企業さんと話をして、一緒に働きませんかというようなことを上手に言ってもらえるようにもうちょっと打ち合わせをして、構成を考えたらどうですか？

事務局 5分の番組なので、構成として、その会社の歴史や何をする会社なのか？地域貢献活動は何をしているのか？を盛り込みたい。

若手社員のインタビューで質問をもう少し考えて出していく。

委員 これから「みえ松阪マラソン」のスポンサーを募るときに寄付をしていただいた企業はこのような動画を作成しますというアプローチをスポーツ課はしていますか？

事務局 していません。

委員 では、最後になぜ？「みえ松阪マラソン」を協賛しているという動画がでてくるのか？趣旨がずれていると思います。企業側も「これからも『みえ松阪マラソン』を応援します！」というテロップが入ると継続性もできて意味ができてくると思う。

事務局 一応、地域貢献活動の中の「みえ松阪マラソン」協賛となっています。その意味合いで「みえ松阪マラソン」を動画に入れています。松阪「力」の中のくくりで一応、地域応援編としています。いただいた意見を参考に、どういう風に活かしていくか、検討します。今年度に新しいコーナーを作りました。1つは市役所の仕事を紹介する番組で「市役所のシゴト」です。2つ目は松阪市内の公共交通機関を紹介する「のりもの図鑑」です。他にもこんな番組があればという、ご意見があれば聞かせてください。

委員 市の施設利用を促すような動画を作って利用方法など紹介してはどうか。また一緒に松阪ナビの紹介も組み合わせはどうか？中部国際空港で放送できるような、松阪の魅力を紹介する番組があっても良いと思う。

事務局 今後の取り組みとして、海外向けのシティープロモーションの動画を1本作る予定になっています。

委員 松阪市民の頑張っている方を紹介する番組をつくり、海外や他の県からも注目される。市民にスポットをあてた番組が欲しいです。あと、シニアの方を応援するコンセプトも大切にしてほしい。「みんなが頑張れる松阪」で応援できる番組を作って欲しいです。

事務局 ありがとうございます。どの程度反映できるか？わかりませんが、検討していきます。海外向けのシティープロモーションの動画を1本作る予定です。また、そちらも完成しましたら観ていただきご意見ください。そして、これからアイウェア松阪でも災害情報がでたら、テ

ロップでお知らせするという取り組みをしていきたいと思えます。これで行政チャンネルからの報告は終わらせていただきますが、質問等あればお願いいたします。

委員 2点あります。1つ目は防災アナウンスで、しっかり読んでほしいですが、風雨で聞き取りにくいです。どうやったらきちんと聴けるのか？検討してください。2つ目はSNS ですがハッシュタグが、わかりづらいことがあります。ハッシュタグが多くつきすぎて、どこからの発信かがわかりづらい。その整理をしていただきたい。

事務局 まず、防災無線に関してですが、広報まつさかの7月号の31 ページに情報の入手方法を掲載しています。今ですと、ホームページや松阪ナビからも発信していますので、そちらからも確認できます。

本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

以上